



### お別れ遠足

6・7・8日 きい・しろ組  
13・14日 あか・しろ組  
28日 もも組

幼児クラス(あか・きい・しろ組)はクラスごとに行きます。学年の中でも日にちが違うのでご注意ください。

\* 早春の気持ち良い気候の中、愛情たっぷりの手作り弁当を持って遠足に行きます。持ち物など詳細は、後日お知らせいたします。  
みんなで楽しい思い出をつくりたいと思います。

### お知らせ

#### 登降園チェック簿の方法が変わります!

平成29年度4月より、登園・降園時に記入してもらっているチェック簿が、園児1人1人に配布したカードを、事務所受け付けに設置したカードリーダーにかざしてもらう方法に変わります。

4月の新学期の混乱を避けるため、在園児につきましては試験的に3月半ばから導入させていただきたいと思っております。

(対象クラス…ひよこ・みどり・もも・あか・きい組)

準備が整い次第、改めて説明のプリントを配布し、開始したいと思いますのでご協力をお願いいたします。

### 一年を振り返って～聞く力を育てる～

平成28年度もあと残すところ僅かとなりました。年長組さんは1か月もするとピカピカの一年生になります。就学にあたっては、読み書きや簡単な数字の理解、時計の読み方くらいはできるようになってほしいという学校関係者もいますが、保育園は小学校教育との接続を図る必要がありますが決して学校教科の準備機関ではありません。むしろ大切にしたいことは、○友だちと仲良く遊べる。○自分からあいさつができる。○先生や友だちの話がしっかり聞ける。○自分の気持ちや意見を言葉で表現できる。○自制心や規範意識ができています。○集中して長時間(授業時間である45分間)取り組むことができるということです。読み書きや簡単な数字の理解、時計の読み方については、様々なあそびや友だちとのかかわりの中で十分に力は身につくと考えています。

また、H30年に保育所保育指針が改定されますが、幼児教育において育みたい資質・能力として、○「知識・技能の基礎」 ○「思考力・判断力・表現力等の基礎」 ○「学びに向かう力・人間性等」を3つの柱として掲げています。これらの身につけてほしい能力等のいずれにもかかわってくるのが「聞く力」であろうかと思えます。小学校に進学しても先生の話をしっかり聞くことができないとたちまち授業がわからなくなってしまいますし、連絡漏れや忘れ物も多くなってしまいます。「聞く力」は理解力や集中力につながり学習にも大きく影響してきますし、豊かな人間関係をつくっていくうえで欠かせないコミュニケーションや自制心の要となります。従って、保育園生活では、小学校教育の先取りをした学習能力を身につけるのではなく、あそびや友だちとのかかわりの中で、「聞く力」を育てることが大切であると考えています。

では、「聞く力」を育てるにはどうすればいいのか。まずは、①自分を受けとめてくれる人がいるかどうかです。…人間は、自分を受けとめてくれる、あるいはありのままに認めてくれるという実感を得たときに、人の自分にも耳を傾けるようになります。そして大切なのは話を聞いてただ同意するのではなく、気持ちに共感してあげることです。例え間違った意見だったとしてもまずは受け止めてあげることでその子の承認欲求は満たされ

ます。アドバイスは途中で話しを遮るのではなく、最後まで聞いてからにするとよいと思います。②読み聞かせを大人と子どもが一緒になって楽しむことはすぐにでも取り組むことができる方法です。…今の子どもたちの生活にテレビやゲームは欠かせないものとなっています。しかし、それらは視覚で理解するため聞く習慣は育ちません。視覚的に刺激のない環境の中で、耳に全神経を集中して聞く場をつくるのが大切です。読み聞かせは、人の気持ちへの感性、気持ちを言葉にできる、我慢できる、語彙(単語のあつまり)が増えるといった効果もあります。引き続き、読み聞かせに集中できる場づくりをお願いします。幼児教育の世界では、0～9歳までを「原体験期」といい、この間の経験がその後の成長に大きな影響を及ぼすと考えられています。子どもはこの時期に親や保育者など周囲の大人たちに可愛がられ、受けとめられ、認められることで、自分はかけがえのない大事な存在だという「自己肯定感」が育まれます。そして、安心感や人に対する信頼感が芽生え、友だちとのあそびを通して様々な能力を獲得していきます。「聞く力」もそのひとつです。

年長児になると、毎週朝礼があります。朝礼の際には、就学に向けての話であったり、仏さまのお話、また、約束ごとであるとか、様々な行事の意味などを話すとともに、読み聞かせをしたりして話に耳を傾けるという時間をつくっています。園では、引き続き、「聞く力」をつけるために一人ひとりの子どもに共感しながら、あるがままを受け入れ傾聴していきたいと思えます。また、傾聴していることが子どもにも伝わるよう目で応えたり、うなずいたり、時には抱きしめながら心で聴いていきたいと思えます。ご家庭においても、あなたは私たちにとって大切な愛しい存在であるということをしつかりと言葉と行動で伝えるとともに、絵本の読み聞かせを取り入れながら、積極的にお子さんの思いを受けとめかかわってほしいと思います。

4月には子どもたちはそれぞれ進級・進学していきます。年長児は卒園していきますが大切な「みみようっ子」です。子どもたち一人ひとりをいつまでも見守り続けるためにも一日一日を大切にしていきたいと思います。



### 卒園式 25日(土)

時間：午前10時の分より  
場所：第二みみよう5階ホール

年長児の成長と門出を心をこめてお祝いしたいと思えます。いつもと少し違う雰囲気の中で一人ひとりの思い出になる式になれば何よりです。

### 茶話会 25日(土)10:45～

卒園式の後の茶話会では、担任をはじめかわりのあった職員も加わって、楽しかったこと、頑張ったことなど保護者のみなさまと一緒に語り合い、思い出のひとつにしたいと思っています。

またこの度卒園する新一年生を迎えての、お楽しみ会を新学期に予定しています。卒園しても、いつまでもみみようの子どもたちとして見守っていきたくと思っています。

### 子育て応援メッセージ

#### 子どもの育つ力を信じてみる



子どもは自分でやりたいタイミングでやりたいのです。やらされるよりもやりたい気持ちが生まれるのを待って、やりたいのです。

「平和都市 みんなでつくる 防火の輪」  
広島市南消防署

